

大谷 卓也 氏

就農2年目

【就農のきっかけ】

大阪で働いていた4年前に病気を患い働けなくなったことをきっかけに、生まれ故郷の尾道市岩子島に家族と共に帰郷した。実家の農地で農業を行いたいとの思いと、ここでなければできないことをしたいとの思いから、岩子島が日本一の産地であるワケギ栽培を開始した。

【課題と解決】

ワケギ農家は高齢化により部会員が3分の1に激減。ワケギ産地を消滅させないよう、次世代に繋げられる農業を継承することが課題。現在、「尾道わけぎ産地新規就農支援協議会」を設立し新規就農者を受け入れ。

【今後の経営方針】

将来的には夫婦で規模拡大を行う。そして、子供達が大人になった時に、自分もやりたいと思ってもらえるような農家になりたい。



大谷卓也（おおたに たくや）さん

【経営状況】

- ◆就農：令和6年9月
- ◆経営面積：58a（ワケギ50a、トマト8a）
- ◆雇用人員：なし、仕事の合間に両親がサポート
- ◆販路：JAのみ

就農を考えている人への一言

- ・情報を貰えるところに的確に訪問し情報収集することが、就農への早道
- ・産地側としては、就農者が思っている以上に来てくれることに大歓迎



ほ場風景



2作目と3作目のワケギ